



New Partnership

第56号 2018年2月26日 安足教育事務所ふれあい学習課
TEL.0283-23-1471 FAX.0283-23-4274 mail: ansoku-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

安足地区

ふれあい学習ネットワークが開催されました！

テーマ

「みんなでつくろう 地域のつながり 親子のきずな」
～地域として、学校として、家庭としてできること～



2月8日(木)足利市民プラザ西館小ホールを会場に、「平成29年度安足地区ふれあい学習ネットワーク」を開催しました。栃木県で推進している「ふれあい学習」とは、学校・家庭・地域社会が連携・協力し、子どもの「生きる力」をはぐくむとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指し子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を推進するものです。安足地区では、ふれあい学習推進会議を設け、地区の現状や課題、それらの解決策やこれからの展望について話し合ってきました。そして、上記のようなテーマを設定し、「地域社会みんなで、地域の子どもたちを育てていく環境づくりを目指したい」という趣旨で、今年度の「ふれあい学習ネットワーク」の企画をしました。

【内容】☆講演 「コミュニケーション・ワーク」～心地よい人間関係～
宇都宮共和大学 教授 河田 隆 氏
☆グループ協議 「地域とうまくつながるために、あなたは何かができますか？」

当日は、232人と多くの方の参加がありました。

河田先生の講演では、人間関係の希薄化が叫ばれている現代社会において「つながり」ということがいかに大切か、そして、その「つながり」をつくるための心地よい人間関係づくりの方法について、実際に自分たちで身体を動かすワークなども交えながら教えていただきました。河田先生の熱のこもった話に参加者だれもが引きつけられ、時間が過ぎるのがあっという間に感じられました。参加者からは、「子どもも大人も共感することが大切だと感じました。」「相手を尊重する心を大切にしていきたい。」「人とのつながりについて改めて考えることができた。」などの感想が寄せられました。



後半のグループ協議では、「地域とうまくつながるために」、それぞれの立場で何ができるか話し合いました。そこでは、「自分とは違った立場の人の意見が聞けて参考になり、新しい発見があった。」「地域の中でも積極的にコミュニケーションをとっていきたい。」などの意見が出されていました。研修終了後のアンケートでは、今後、地域として子どもたちにどんなことを教えていく必要があるか、また、子どもを健やかに育てるためにどのような活動が必要だと思うか、という質問にも答えていただきました。結果は以下の通りです。

地域が中心となって、

子どもたちに教える必要があるもの

- 1位 人を思いやる気持ち
- 2位 社会のルールを守ること
- 3位 地域の歴史や文化を尊重する気持ち



子どもを健やかに育てるために、

地域ではどのような活動が必要だと思うか

- 1位 子どもの安全を確保するための活動
- 2位 異なる考えをもった人たちや異なる年齢の人たちとの交流活動
- 3位 地域の歴史や文化、自然を体験したり学ぶ活動

地域連携次年度に向けて...

「社会に開かれた教育課程」

小学校においては平成32年度から、中学校においては平成33年度から次期学習指導要領が全面実施されます。中でも、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力を社会と共有、連携し確実に育成することを目指す「社会に開かれた教育課程」を実現していくことが重視されています。

ポイント1

「社会に開かれた」とは？

「よりよい社会を創る」という目標の実現に向けて、学校教育において育成を目指す資質・能力を明確にするとともに地域社会と共有し、互いに連携をしながら共にその実現を目指すということです。

【社会に開かれた教育課程】

〈文部科学省資料〉

- ① 社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、教育課程を介してその目標を社会と共有していくこと。
- ② これらの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界に向き合い関わり合い、自分の人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育てていくこと。
- ③ 教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させること。

ポイント2

「社会に開かれた教育課程」を編成するために必要なことは？

中教審で示された「これからの社会に求められる資質・能力」に示された3つの育成すべき力等の具体を教育目標との関連を重視して、各学校の児童生徒の実態、学校課題等に応じて明らかにし、「わが校において育成を目指す資質・能力」として教育課程に明示することが必要になります。

今回の社会に開かれた教育課程では、**学校で育むべき資質・能力を社会と共有することを重視しています。**ただ単に外部講師をよび、体験活動をすればよいというのではなく、**学校と地域・保護者との間で、これからの子どもたちにどのような力が必要かについて共通認識をもったうえで、これまでの教育活動の見直しを図っていくことが大切です。**

中教審で示された

「これからの社会に求められる資質・能力」

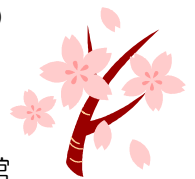
学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等
の育成

平成30年度 県が主催する生涯学習関連行事予定

6月 8日(金)	安足地区人権教育指導者一般研修	足利市民プラザ
7月18日(水)~8月10日(金)	社会教育主事講習 〔事前研修：7月2日(月) 県庁〕 〔現地研修：8月3日(金) 足利市助戸公民館〕	宇都宮大学 他
7月27日(金)	安足地区PTA指導者研修Ⅰ	足利市民プラザ
9月 6日(木)	栃木県少年の主張発表安足地区大会	佐野市文化会館
10月26日(金)	ふれあい学習研修会〔第1回〕 (社会教育主事有資格者ステップアップ研修Ⅰ)	足利市生涯学習センター
10月31日(水) ~11月2日(金)	不登校児童生徒支援事業 (不登校児童生徒合同宿泊体験学習：ふれあいキャンプ【県西地区】)	太平少年自然の家
11月22日(木)	ふれあい学習研修会〔第2回〕 (地区別地域連携教員研修)	安蘇庁舎
〔平成31年〕		
1月31日(木)	安足地区ふれあい学習ネットワーク	佐野市文化会館



ふれあい講師派遣

安足教育事務所ふれあい学習課では、毎年、家庭教育や人権教育の出前授業(ふれあい講師派遣)を実施しています。今年度も多くの依頼をいただき、学校や公民館等を中心に2月28日現在、合計31件(参加者：約1700名)のお手伝いをさせていただきました。次年度も引き続き、皆さんのお手伝いをさせていただきますので、お気軽に安足教育事務所までご相談ください。

